

=====
助成金の利活用で事業の収益性・成長力を加速/転換を実現する

6回シリーズ 第3回：経済産業省 SBIR＝技術革新制度への書籍検索販売の申請実績

著者： PDB マーケティング

代表取締役 藤田 幹夫

=====
*収益力UP! 成長力UP! を実現したい企業は、
公的資金（厚生労働省助成金）を利活用して スピードUP!
申請資料作成と必要資金の手当ても全面的に支援します。

=====
2017年6月30日から、6回メルマガを担当している藤田です。
私から経営者への提案は「今こそ助成金で事業の加速/転換を実現する」です。
今日が3回目となります。（全体構成は2回目=7月7日配信をご覧ください）

①3回：経済産業省 SBIR＝技術革新制度への書籍検索販売の申請実績

SBIR は Small Business Innovation Research の略で日本語訳は中小企業技術革新プログラムです。

アメリカで1982年（35年前）に設定された中小企業技術革新法に基づき、すべての連邦政府は外部委託研究費の2.5%を中小企業の研究助成に使うように定めていました。2009年に終了していると思います。

アメリカは1%の金持ちが支配している国ですが、こうした中小への研究助成が当たり前が存在していることが支配力維持の源泉でもあります。

アメリカの実績では経済成長率が4%を超えて、雇用の伸びもあり効果はありました。

・一方、日本ではバブル崩壊後、廃業率が創業率を上回り企業数が減少、マイナス経済成長率の状況です。

アメリカに倣っての制度導入が必要ということで、経済産業省を中心に7省合同という形式で、平成10年（1998年）から中小企業の技術開発を促進する狙いで創業助成金の仕組みが提供されました。和製SBIRとも称されました。

15年間運用されて、平成23年で終了のようです。成果が問われるところです。

中小の研究支援はいいことです。

私は、平成11年の公募に申請し、500万円ほど受給しました。

いまだにきちんと記録が残っています。

http://www.chusho.meti.go.jp/faq/faq/faq07_sbir.htm

・研究助成ですから、どこにもやっていないサービスが対象です。
提案競争の様相を呈して、1000社以上が受給しています。

私の場合は、古本の流通でした。

若い女性契約社員の発案で、書籍についているバーコードを読み取って、対象を特定し、データベースを参照して、買取価格を設定し、同時に在庫データとして販売価格を自動設定する。買取と販売は店舗を設けなくてコンビニを使う。といった点が特徴です。

・すでに新業態として古書店をブックオフが展開開始していたので、審査会ではここの差別化が中心的な課題でした。

ブックオフはこの時点ではデータベース化がなされていなかったこと、無店舗への可能性が訴求点でした。実験代として500万円の助成金を取得しました。

使い勝手の悪いことは、決定後気が付きます。

助成金はお金を使った後で、その証憑を示して受け取ることができますが、先行投資になることも考慮しておくが安全です。。

・形式的、制度としてSBIRの認定企業向け融資なるものもあるのですが、実態は既存融資商品の斡旋でした。助成金を担保とした融資は商品として存在しません。

アイデアはよくても新規事業への資金はありません。実験のための環境を構築しましたが、ここまででした。経営資源が全く足りなかつと反省してます。

その後、ブックオフはすでに展開していた古本チェーンをシステム化し、一気に事業を拡大しました。しかし、今は曲がり角に来てるようです。

◆このケースは、助成金取得が目的となって、その後の事業化=必要資金などを正しく想定していない誤りです。18年前の経験です。事業化計画と必要な経営資源を準備できなければ墓穴を掘ることにもなるのです。

誤りを経験することで成長です。

具体的な助成金の申込方法などは「はやぶさ」事務局にお問い合わせください。

申請書の作成などは、私が経験をもとに対応し、事務局と検討を重ね、「はやぶさ」読者の方へ最適なサービスに努めてきています。

事務局のアドレス

happy@keiei-tokkunshi.jp

*次回は、結果として受給できなかった助成、支援金の話です。

4回：環境関連助成金/コンテンツ制作支援金=BDF バイオジーゼル事業など

▼作者プロフィール：

- ・氏名：藤田 幹夫（ふじた・みきお）66歳
- ・出身：香川県丸亀市
- ・出身高校／大学：香川県立丸亀高校／京都大学理学部
- ・役職：PDB マーケティング 代表取締役
- ・mail:fujita@p-db-m.com
- ・経歴：1974年 株式会社日本ビジネスコンサルタント（現日立システムズ）入社
1987年 兼（財）データベース白書編集委員 2008年廃刊まで
1996年 ソフト流通会社年商300億円/社員300名の清算。
2005年 起業会社をセントレックス市場にIPO
2009年 市場開拓ができず代表退任

2009年 PDB マーケティング株式会社代表就任（現在）
コンテンツ市場開拓/MA,資金調達支援コンサルを実施。
2017年 学生起業促進を目的として京都移転（現在）

===== お知らせ =====

収益力 UP! 成長力 UP! 公的資金・利活用でスピード UP!
ビジネスドックを受診するとこんな成果を約束いたします。

- ◆かかりつけ医が、ワンストップで補助金・助成金等（その①②③）の手順を設計！
- その①厚労省系助成金が、基本助成金プラス生産性 UP で加算の可能性！！
- その②経営計画策定で、20 万円（2/3）が受けられます！（補助金）
- その③3 年間固定資産税が半額に！！（経営力向上 認定）

詳しい補助金、助成金の受け方は、

URL ; http://xn--fiqztj72ae5m.net/wp/wp-content/uploads/2017/05/HosBiz_BDC170524.pdf
を参照ください。

- 「中堅・中小企業“かかりつけ医”ネットワーク=MSDN」対応 HP 開設■■
- “かかりつけ医”とはどんなお役立ちなのかを是非知って、ご利用ください。
- 新設しましたので、ご高覧いただければ幸いです。

<http://xn--fiqztj72ae5m.net/>

中小企業。Net

*スマホでもご覧いただけます***

リンクは。会員オンリーですので、ご連絡ください。

*中堅・中小企業“かかりつけ医”ネットワーク=MSDN」のねらい
私達は、80%以上の人々が働いている中小企業、小規模企業が「進化・発展、持続」しなければ、世の中は良くなることはないとの信念で、経営者との信頼関係のもとで育成経営支援に取り組んでおります。

◆目的◆

イノベーションの時代・中小企業の「進化・発展・持続」の実現！

- ◆“かかりつけ医”とは、中小企業・小規模企業の育成経営支援を使命とし経営者を親身になってサポートする専門家（税理士・診断士・社労士等）で、3Win の実現を推進する企業の主治医（ビジネスドクター）です。

* 3Win=経営者・育成経営支援家・地域がお互いに繁栄する=

経営環境の創出・適応して「安心・安全」の企業経営ができる、お役に立ちますように
 「中堅・中小企業“かかりつけ医”ネットワーク=MSDN」を構築推進しております。

◆企業経営の「安心」とは、いつでも経営者が使えるキャッシュが手許にあることです。
 「安全」とは、企業経営のカジ取り（行き先・アクセル・ブレーキ）を、先を見通した
 マネジメント会計情報（注）をもとに、行うことです。

（注）経営者の意思決定に役立ち、キャッシュフローを「安心」の状態に保ち、収益力を
 高めるための、部門別（部署別・商品別・得意先別・仕入先別等）の管理会計のこと
 です。税務会計との違いは、税務会計は過去の実績にもとづく納税計算が目的なの
 に対して、マネジメント会計は、現在・未来を見通して刻々と（即時に）経営情報
 を経営者に提供して、未来のビジネスチャンスの獲得やリスクに備えることができる点
 です。ライバルに差をつけるには、体得することがNO1になる条件であります。

***** セミナー等のご案内 *****

■経営特くんゲーム（マネジメントゲーム）のお知らせ■

◆第61回以降の「トライアルゲーム」（半日、1日コース）◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆
 日程が決まりましたのでお知らせします。本格的な経営特くんゲームを体感できます。
 電卓およびPC機を持参ください。（エクセルによる自動決算を行うため）

1) 第61回 8月26日(土) 10:00~18:00(1日コース)

●開催場所「経営特訓道場」

JR駒込駅南口 徒歩7分 東京メトロ南北線駒込駅1番出口 徒歩6分

◆経営特訓士資格認定講座◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

◆経営特訓士インストラクター資格認定講座◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

◆お問い合わせは URL <http://keiei-tokkunshi.jp/>

次回以降の講座日程は決定次第、改めてご案内します。

=====

◆経営相談は

<http://xn--fiqztj72ae5m.net/> 中小企業. Net

の「お問合せ」を開き、必要事項をご記入のうえ、送信してください。

=====

一般社団法人 経営特訓士協会（略称：KTGA）

URL <http://keiei-tokkunshi.jp/?mail>

アドレス：happy@keiei-tokkunshi.jp

発行責任者： 理事長 平本 靖夫、 編集長：石川 昌平

配信解除URL：配信停止をご希望の際は、以下のアドレスをクリックしてください。

<https://1lelend.com/stepmail/delf.php?no=300444>